

「SPOPS®」を活用した消毒剤容器で日本製紙グループの手指消毒剤プラスチック削減の取組みを開始

日本製紙株式会社

2022年04月01日

日本製紙グループは、4月から、グループ内の事業所や工場などの各種施設に常置している手指消毒剤の容器に、差し替え式紙パック「SPOPS®」を活用した「ワークスキン手指消毒剤 400ml」(指定医薬部外品)」を導入します。

コロナ禍において新型コロナ感染症が続く中、手指消毒は社会生活に定着し、事業所や各種施設に手指消毒剤が常置されるようになりましたが、そのほとんどがプラスチック製容器であり、プラスチックごみの増加に繋がっています。今回、日本製紙グループ自らの事業所にSPOPS®を活用した「ワークスキン手指消毒剤 400ml」を展開することで、当該用途で発生するプラスチック廃棄物を、現行の約50%削減する見通しです。具体的には2022年4月から、日本製紙グループの日本製紙、日本製紙クレシア、日本紙通商の事業所に順次導入を開始することで、グループでの手指消毒剤のプラスチック廃棄物の削減に取組むと共に、日本製紙クレシアによる当該製品の外販に向けた検討を進めます。本製品は指定医薬部外品の手指消毒剤としては、日本で初めて紙容器を使用した商品となります（当社調べ）。

「ワークスキン手指消毒剤400ml」は、３つの良い（E）こと...ECO(環境)、EASY(簡単)、EFFICIENCY(効率的)を社会に提供します。

１） シングルユースプラスチックの廃棄物量の削減

（容量あたりのプラスチック廃棄物を約50%削減　※大容量４L詰替え容器との比較　当社調べ）

２） 詰替え作業の手間を軽減

３） 使用後、紙パックを折りたたむことで、ごみ容積を削減

日本製紙では、「紙でできることは紙で。」を合言葉に、再生可能資源である紙の可能性を追求し、循環型社会の構築への貢献を目指しています。日本製紙クレシアは、コーポレートスローガン「衛生を、ずっと」のもと、クリネックス・ポイズ・クレシアEFといった衛生製品を世の中に送り出しています。今回のワークスキン手指消毒剤は、環境と衛生の両立に寄与する製品であり、世の中に広めていくことにより社会に貢献していきます。



ワークスキン手指消毒剤400ml



使用済み紙パックを折りたたんだ様子